

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年12月24日(2024.12.24)

【公開番号】特開2024-72704(P2024-72704A)

【公開日】令和6年5月28日(2024.5.28)

【年通号数】公開公報(特許)2024-097

【出願番号】特願2022-183703(P2022-183703)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月16日(2024.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0 0 0 6】

30

本発明の代表的な一形態では、遊技球が入賞可能な複数の入賞口と、複数の入賞口に対応して設けられるスイッチまたはセンサから入賞信号を取り込み可能な遊技制御手段と、遊技制御手段からの指令にもとづいて遊技者に所定の遊技価値を付与可能な払出手御手段とを備える遊技機が提供される。遊技制御手段は、プログラムを記憶するプログラム記憶手段と、プログラムによって所定の演算処理を実行可能であり、プログラム記憶手段における実行される命令のアドレスをジャンプさせる第1分岐命令と第2分岐命令を実行可能に構成された演算処理手段と、演算処理を行う際に値が記憶される複数のレジスタと、演算処理手段によって更新される情報を記憶可能な更新情報記憶手段と、を備える。第1分岐命令は、所定の命令長の分岐命令である。第2分岐命令は、分岐可能なアドレスの範囲が制限されて、第1分岐命令よりも命令長が短く、且つ特定のフラグを判断して分岐を行う分岐命令である。プログラム記憶手段は、プログラムとして、遊技制御用の第1プログラムを第1プログラム記憶領域に記憶し、非遊技制御用の第2プログラムを第2プログラム記憶領域に記憶する。第1プログラムは、特定の処理ルーチンと、特定の処理ルーチンから呼び出される特定のサブルーチンとを含んで構成される。特定の処理ルーチンでは、第1アドレスに、特定のフラグを変更可能な第1命令を配置し、第1アドレスより後ろの第2アドレスに、第2アドレスより後ろの第3アドレスに処理をジャンプさせる第2分岐命令を配置して、第1命令の実行後に特定のフラグを変更可能な処理を介すことなく第2分岐命令を実行可能とし、第2アドレスと第3アドレスとの間に、特定のサブルーチンを呼び出す第2命令が配置される。所定周期のタイマ割込みで実行されて複数の入賞口に対応する各入賞信号を順次取り込み可能な割込み処理は、第1プログラムに含まれる。割込み処理により取り込んだ入賞信号に対応して払出手御手段への指令を生成する生成処理もまた、第1プログラムに含まれる。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

50

【請求項 1】

遊技球が入賞可能な複数の入賞口と、前記複数の入賞口に対応して設けられるスイッチまたはセンサから入賞信号を取り込み可能な遊技制御手段と、前記遊技制御手段からの指令にもとづいて遊技者に所定の遊技価値を付与可能な払出制御手段とを備える遊技機において、

前記遊技制御手段は、

プログラムを記憶するプログラム記憶手段と、

前記プログラムによって所定の演算処理を実行可能であり、前記プログラム記憶手段における実行される命令のアドレスをジャンプさせる第1分岐命令と第2分岐命令を実行可能に構成された演算処理手段と、

10

前記演算処理を行う際に値が記憶される複数のレジスタと、

前記演算手段によって更新される情報を記憶可能な更新情報記憶手段と、を備え、

前記第1分岐命令は、所定の命令長の分岐命令であり、

前記第2分岐命令は、分岐可能なアドレスの範囲が制限されて、前記第1分岐命令よりも命令長が短く、且つ特定のフラグを判断して分岐を行う分岐命令であり、

前記プログラム記憶手段は、前記プログラムとして、遊技制御用の第1プログラムを第1プログラム記憶領域に記憶し、非遊技制御用の第2プログラムを第2プログラム記憶領域に記憶し、

前記第1プログラムは、特定の処理ルーチンと、前記特定の処理ルーチンから呼び出される特定のサブルーチンとを含んで構成され、

20

前記特定の処理ルーチンでは、

第1アドレスに、前記特定のフラグを変更可能な第1命令を配置し、当該第1アドレスより後ろの第2アドレスに、当該第2アドレスより後ろの第3アドレスに処理をジャンプさせる前記第2分岐命令を配置して、前記第1命令の実行後に前記特定のフラグを変更可能な処理を介すことなく前記第2分岐命令を実行可能とし、

前記第2アドレスと前記第3アドレスとの間に、前記特定のサブルーチンを呼び出す第2命令が配置され、

所定周期のタイマ割込みで実行されて前記複数の入賞口に対応する各入賞信号を順次取り込み可能な割込み処理は、前記第1プログラムに含まれ、

前記割込み処理により取り込んだ入賞信号に対応して前記払出制御手段への指令を生成する生成処理もまた、前記第1プログラムに含まれる、

30

遊技機。

【請求項 2】

前記第1命令は、所定のレジスタと特定の値との比較を行うとともに、比較結果に対応して前記特定のフラグに値を設定する命令である、

請求項1に記載の遊技機。

40

50